

2024年10月5日 めぐみ保育園「いのちの教育プログラム」

めぐみ保育園で年長さんとその保護者の方々と一緒に「いのちの教育プログラム」を実践しました。8月には学童保育（小学校1～3年生）の皆さんと学習しましたが、今回は年長さんです。「とくちょう」「いろいろ」を伝えるプログラムです。まとめの時間では、私達が「目の形、舌をくると丸めたり…これって何だったっけ？」という問いかけに、元気に『とくちょう』と答えてくれました。幼児にも理解できる“遺伝”があることを再認識しました。

今回はM1の柏原さん古賀さんに実践をまとめてもらいました。

=====

はじめに

今回の講座の中で大切な言葉“特徴”について子どもたちに理解してもらえるよう、みんながよく知っているキャラクターを見比べて、“特徴”を探しました。子どもたちは“とくちょう”と書かれた矢印カードでキャラクターたちの“特徴”を指しながら、「目だ!」「髪もとくちょう?」とたくさん見つけることができていました。

PTUの味

PTUの薬液をしみこませた細長い紙をなめて、味がわかる/わからないの特徴をみしました。紙の味とPTUの味が分かるように、薬液をしみこませていない紙をなめて、次にPTUをしみこませた紙をなめて比べてもらいました。PTUの紙では、「苦い!」という子もいれば、「紙の味!」という子もいました。保護者の方も、「苦いです」という人と、「味しいです」という人がいました。

大人でも子どもでも、味がわかる/わからない“特徴”があることがわかりました。

遺伝の木

“二重まぶた?一重まぶた?”“富士額?まあるいおでこ?”など、自分たちのからだの特徴を鏡やルーペを使いながら保護者の方や周りのお友達と一緒に観察しました。特徴を表したシールを選んで、似顔絵シートに貼っていきます。「ぼくこれある!ママは?一緒!」「〇〇ちゃんとちがう~」など、お友達や保護者の方と、同じ特徴もあれば違う特徴もあることをみつけることができていました。



保護者の方も「これはおもしろい。(子どもと)一緒のとこと違うとことあります。」と、子どもたちと一緒に楽しみながら参加していただいている様子が伝わってきました。特徴シールを似顔絵の周りに貼ると、特徴シールが花びらになった“わたしのお花”ができました。



次に、完成したお花を使ったゲームを行いました。“遺伝の木”の枝分かれした部分に特徴が書かれており、自分の特徴にあてはまる枝に進んでいき、たどり着いた枝にお花を貼ります。みんな順番に木の上を歩きながら枝をたどって、“わたしのお花”を貼ることができました。みんなが“わたしのお花”を貼ると、どの枝にも花が咲き、“遺伝の木“はたくさんのお花で満開になりました。みんながいろいろな特徴を持っていることで”遺伝の木“はすべての枝にお花を咲かせることができます。

すべての枝にたくさんのお花が咲いたことを見て、みんなの特徴はいろいろあること、いろいろあっていいことを学びました。自分たちの特徴がきれいに咲いた木を見て、「みんな違ってみんないい！」ということを感じてもらえたと思います。

まとめ

今日のキーワードである“特徴”についておさらいしました。いろんな“特徴”を持ったひとがいるから楽しいこと、どの“特徴”も大切なものであることを、「みんなちがってみんないい」ということを再確認しました。

最後に子どもたち一人ひとりに修了証をお渡ししました。子どもたちは修了証を受けとり、にこにこ嬉しそうで私たちも嬉しい気持ちになりました。

この学習を通して、“自分もお友達も大事、だからみんなと仲よくしよう”ということが伝えられたと思います。元気いっぱいの子どもたちと一緒に学び、私たちもパワーをもらいました。

めぐみ保育園の年長さんと保護者の皆様、ご協力頂いた先生方、ありがとうございました。



文責：遺伝看護・遺伝カウンセリングコース1年 柏原由紀乃 古賀和